

# うたしない 市議会だより

## 第52号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成30年11月1日

平成30年  
第3回定例会  
9月開催

### もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 行政常任委員会報告 …… 1 P
- 一般質問 …… 2～4 P
- 可決された意見書 …… 4 P

行政常任委員会で認定こども園『あおぞら』を視察



## 議会の動き

### 〔定例会の開催〕

平成30年第3回定例会を、9月4日から6日までの会期3日間と決定し開会しましたが、6日に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電等の影響により、会期を1日間延長し、7日までの4日間で開催しました。

4日は2件の報告を受け、議案9件を審議し、平成29年度決算に係る2議案は、決算審査特別委員会（委員長本田加津子）に付託し、閉会中に継続して審査することになり

ました。

教育委員会委員の任命・監査委員の選任・固定資産評価審査委員会委員の任命については原案に同意、市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例ほか4議案は、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問は5日4名、7日3名が行い、その後意見書案5件を審議し、採決の結果、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

### 行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

- ▽7月31日
  - ・平成30年度建設事業の工程について
  - ・企業誘致の取り組み状況について
  - ・中小企業振興保証融資事業の状況について
  - ・有害鳥獣対策について
  - ・ワイン用ぶどう試験栽培事業の進捗状況について（現地視察含む）
  - ・平成29年度病院事業会計決算状況（見込み）について
  - ・平成29年度決算状況（見込み）について
  - ▽8月29日
    - ・予防対策事業及び健康づく

### 〔一部事務組合等議会〕

- ▽6月29日
  - ・空知教育センター組合議会第1回臨時会 湯浅議員
- ▽8月21日
  - ・空知中部広域連合議会第2回定例会 川野議長・下山議員

- ・事業の状況について
- ・認定こども園について（現地視察含む）
- ・消費生活相談業務の現況について
- ・市民相談の状況について
- ・ごみ分別収集の現況について
- ・ごみの不法投棄及び不適切排出の状況について



めぐみ さとし

一 住民の安心・安全を促進する取り組みについて

今年は大阪北部地震、西日本豪雨災害など、あらためて私たちの命と暮らしを守る防災・減災の緊急性と重要性を感じるようになりました。

また、連続発生している台風や日本各地で起きている酷暑と言われる温暖化、ゲリラ豪雨など今まで経験してこなかった異常気象が頻発する事態になっています。

当市においても、2年前の大雨災害は大きな被害として、現在も至るところでその傷跡を見ることが出来ます。

今後の異常気象を考えると、北海道にも梅雨や猛暑・酷暑といったことも考える必要があるかもしれません。そこで伺います。

質① 防災・減災について、2年前の大雨災害時に被害を受けた河川や法面、砂防ダム等の工事がまだ行われていない箇所はどれ位あるのか。

答 北海道管轄の河川災害復旧工事の未完了は7カ所で、そのうち5カ所は入札済みで、

残り2カ所は11月に入札予定。質② 今年は暑い日が続いたが、高齢者が多い当市においては、高齢者の方々に対して暑さ対策や、予防の周知などどのようなことを行っているのか。

答 広報7月号で、熱中症の症状や対応方法、注意事項を掲載し、猛暑が続いたことから8月号の広報でも折り込みチラシを配布した。

質③ 災害時の避難所におけるエアコンの普及率はどうか。

答 17カ所ある避難所のうち、コミュニティセンターとチロルの湯に設置されている。福祉避難所については、しらかば荘、楽生園、親愛の家に設置されている。そのほかの避難所にはエアコンの設備はない。

※私の一般質問は9月5日に行いました。

その翌日未明に、胆振東部地震が発生しました。

全市が停電となる想定が私自身も出来ていなかったことで、今回のエアコンの質問は、電気が通電している状況を踏まえた上での質問となっています。



下山 則義

一 文教地域のその他の施設の構想について

質 歌志内市総合計画に地域別重点ゾーンとイメージ図が掲載され、基本計画の重点プロジェクト3に「現状・課題と方向性」と「具体的取り組み」があるが、分散している子育て施設、不足している子供の遊び場の今後は、

答 子育て施設としては、文教施設を集約する計画のため、中学校横に認定こども園を開設し、今後も同地区に義務教育学校の開設や児童館・児童センターの一元化などについて検討が行われることとなる。

子供の遊び場については、東光三区地区の改良住宅の公園の遊具を取り替えたほか、メモリアルパークを継続的に整備改修していく予定。

質 子育て支援センターの役割と標榜する子育て応援タウンの全体像は、

答 地域の子育て家庭に対する育児支援を目的とした施設で、本市では、認定こども園で「子育て相談」、「幼稚園型一時預かり保育事業」を実

施することとしている。

「子育て応援タウン」の全体像は、0歳児から中学生まで一貫した子育て・教育を推進し、子育て・教育施設の集約化、子育てを応援する環境整備、経済的な子育て支援、情報教育の推進を図ることに

より、本市のセールスポイントとなるような、特色のあるオンリーワンの子育て環境の形成を目指すもの。

二 安心して、快適に暮らせるまちづくりについて

質 中央バス焼山線の利用状況把握のためアンケートを実施したと聞かすが、アンケートの実施期間、集計枚数、内容、集計結果は。

答 6月25日から7月1日までの7日間実施し、焼山線全百八便に乘車した六百十五名を対象に集計した。内容は、年齢、職業、乗車目的、利用頻度、焼山線廃止についての考え方、仮に廃止になった場合の手段等について調査を行った。集計結果は、焼山線を利用している半数が廃止に反対しているが、半数は容認し

ており、廃止になった場合は約9割が、歌志内線を利用するとの結果になっている。



酒井 雅勝

一 総合計画及び総合戦略について

質① 総合計画は、平成28年度からスタートし、3年目を迎え、来年度は見直しを行う年度を迎えると思うが、現時点で見直すことが必要とされる課題について伺う。

答 歌志内市総合計画は、来年度中に後期計画に向けて見直しを行う。

見直しに当たったの課題としては、先に国立社会保障・人口問題研究所が発表した地域別将来推計人口が、当初の見込みよりも減少しているため、人口減少に歯止めをかけるさらなる施策が後期計画の見直しの際には必要となる。

再質 この総合計画を策定する際、まちづくり市民会議というものを開き市民の方とこの総合計画を作るための会議を行ったが、見直しをする際、そのような場所を設けることはしないのか。

答 前回のような、ワークショップを行うかは、まだ未定。質② 高齢者向け住宅や認定こども園など、大型の建設事

# 一般質問

業が推進されてきたが、今後、総合計画の計画期間内で予定されている、大型の建設事業について具体的に伺う。

**答** 歌志内市総合計画の主な施策・事業や、歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業内容には、具体的な事項を記載しているが、計画期間中に、産業の育成や教育の推進、地域別重点ゾーンへの集約など、必要な事業を実施していく。具体的事業については、各年度の財政状況や行政需要を勘案しながら検討していく。

## 〔平成30年度議会報告会〕

委員長 女鹿 聡

今年度の議会報告会を10月4日から11日までの間、市内7会場で開催いたしました。

今回は、「市総合計画について（9月定例会一般質問から）」というテーマで報告を行い、質疑応答の後、意見交換を行いました。

報告会の詳細については、次号でお知らせいたします。



山崎 瑞紀

一 心ふれあいまちづくりについて

**質** 当市の公共施設や観光施設におけるおむつ交換台の設置状況はどのようになっているのか。

**答** また、現在設置していない公共施設や観光施設におむつ交換台を設置する考えはあるか。

**答** おむつ交換台の設置状況は、市立病院の待合ホール及び1階女子トイレにそれぞれ1台ずつ、認定こども園の多目的トイレに1台、かみい岳温泉の女子浴室脱衣場に1台を設置している。

また、チロルの湯においても、女子脱衣室に1台設置されているとともに、道の駅駐車公園トイレにも、男子及び女子トイレにそれぞれ1台ずつ設置されている。

このような状況であり、乳幼児を持つ子育て家族がさらに安心して外出できるよう、施設の利用状況や設置スペースの確保について検討を行うとともに、優先順位を決めて順次、整備を進めたいと考えている。

## 二 歌志内市総合計画について

**質** コンパクト化に向け当初イメージしていた地域別重点ゾーンは現在どの程度合致しているのか。

**答** 土地利用の方向性について市内を大きく3地区に分けて地域別重点ゾーンとしてイメージ図を掲載しており、「中村・文珠地区」は戸建を中心とした居住地区として文教施設を集約、「本町・上歌・東光・歌神地区」は市営住宅を中心とした居住地区として公共施設を集約、「神威地区」は地域医療を中心とし、他の2地区を繋ぐ市民の交流拠点として位置付けている。

この計画は28年度から10年間の計画であるが、現在まで文珠地区には認定こども園、本町地区に高齢者専用住宅を建設し、歌神2地区の移転や神威地区は市立病院の医療機器整備を進めるなど、各年度で財政状況を勘案しながら必要な事業を実施しており、今のところそれぞれの重点ゾーンに合致する事業を推進している。



谷 秀紀

一 国の政策である「まち・ひと・しごと創生法」の事業費を利用した雇用のための新規政策事業の推進の件について

**質** ① 当市の策定した創生総合戦略の中で、自治体を財政面で支援する国の地方創生推進交付金の活用を予定しているものが戦略策定事業の中に雇用につなぐような新規事業について、現在どのような進捗状況なのか。

**答** 歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載されている事業のうち、地方創生推進交付金を活用予定の特定事業は現在のところない。

推進交付金は、地方公共団体のみの取り組みではなく、民間と協働で行う事業という、官民協働という認定基準が設けられている。総合戦略策定時には、官民協働による特定事業がないので記載をしてないが、今後、総合戦略の基本目標を達成するために、必要に応じて活用を考えている。

**質** ② 高齢化が著しく進んでいる現在、福祉政策の充実が

必要としている今日、高齢者はもとより特に視覚障がい者は国内で盲導犬を希望する方々が約4千名と推定され、盲導犬は近年国内での活動数は1,010頭と推定され、待機視覚障がい者が約3千名程と言われ、今後の高齢化社会と介助等の補助にも必要性が注目されており、盲導犬等を繁殖より育成及び老犬事業までを国のまち・ひと・しごと創生の事業費に着眼し、旧西小学校校舎とグラウンドを利用した全国初の国立盲導犬等の施設として関係機関に働きかけ実現させる考えはないか。

**答** ご指摘のとおり希望者に対し大幅に不足しているのが現状。現在、盲導犬の育成施設は、国の指定を受けた11の法人が国内にあり盲導犬については、無償貸与が基本となっており、法人の運営のほとんどが企業や個人からの寄付や募金、会費等で賄われ、盲導犬の育成や訓練を行うには、施設や設備だけではなく盲導犬訓練業務等を適正に行う知識や技能者に加えて業務を確実に行うための必要な経理的基礎を求められるので、現時点で考えていない。



本田 加津子

一 小さくても魅力あるまちづくりについて

質 歌志内には、スーパーやホームセンターのような店舗がなく、個人商店やコンビニエンスストアなどで食料品や日用雑貨品などを購入しているが、自家用車を所有していない世帯などは、必要なものが必要な時に購入できない状況にある。

このような買い物弱者への対応策として、歌志内商工会議所と様々な協議や研究をされていると思うが現在の進捗状況について伺う。

答 商工会議所と協議を続けているところだが、現在のところ、具体的な支援策を講じるには至っていないのが実情。一方、道内においては、自治体と社会福祉協議会、商工会議所など地域関係者が連携して、宅配サービスや買い物物送迎などを積極的に取り組んでいる事例が多くある。現在、それらを参考にしながら、新年度での事業の具体化に向け、商工会議所と協議を進めている。



湯浅 礼子

一 学校教育の取り組みについて

質 文科省の担当者から「昨今、子どもの悩みや困りごとが見えづらくなっており、教員だけでは対応が難しい」と言われているが、当市の状況について伺いたい。

答 児童生徒が抱える課題解決に向け、生徒指導の一環として学校教育相談体制の充実が求められ、北海道教育委員会からスクールカウンセラーの派遣を受け、教育相談体制の充実に努めている。

スクールカウンセラーは、歌志内中学校に月8時間派遣されており、公認心理士、臨床心理士という心理に関して高度な専門的知識及び経験を有する方が対応している。

質 太鼓、新しい和楽器サークル活動は歌志内市の新たな魅力につながり、人口減少の歯止めのためにも町おこしのシンボルとして育てる意味からも、どのような支援を考えているのか伺いたい。

答 文化連盟の規則に基づいて市の補助金を財源とした活動助成金が交付されている。また、コミュニティセンターの使用料が8割減免されるほか、コミュニティセンターを太鼓の保管場所とするなど、日々の活動を行いやすいように支援していく。

可決された意見書

- 旧学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
- 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
- 水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直す指針を抜本的にゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

※これら5件の意見書は9月7日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付しました。

編集後記

9月6日に胆振東部地震が発生し、当市でも震度3の揺れと、ブラックアウトによる想定外の停電が大きな不安をもたらしました。今後、防災に強いまちづくりを進めるうえで、皆様各自でも出来るだけの防災対策を行ってください。  
編集長 めが